

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年11月5日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東
 コード番号 6417 URL <http://www.sankyo-fever.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 公久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 大島 洋子 TEL 03-5778-7777(代)
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	74,648	102.6	11,377	—	12,243	—	8,504	—
27年3月期第2四半期	36,844	△64.8	△4,853	—	△4,380	—	△4,162	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 8,285百万円(—%) 27年3月期第2四半期 △4,681百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	100.79	98.93
27年3月期第2四半期	△44.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	427,397	355,142	83.0
27年3月期	434,648	371,670	85.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 354,605百万円 27年3月期 371,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
28年3月期	—	75.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	2.3	14,000	5.8	15,000	0.9	10,000	14.6	120.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー 社 (社名) 、 除外 ー 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	89,597,500株	27年3月期	89,597,500株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	8,273,841株	27年3月期	4,126,611株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	84,376,193株	27年3月期2Q	93,471,915株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中でありませ

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、連結業績予想における「1株当たり当期純利益」は、平成27年10月9日に公表いたしました「自己株式の取得状況及び取得終了に関するお知らせ」の自己株式302,900株の取得を考慮した期中平均株式数を基に算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向など緩やかな回復基調が続く一方で、中国をはじめとするアジア新興国等の景気下振れが、わが国の景気にも影響を及ぼすリスクが懸念視されております。

当パチンコ・パチスロ業界では、遊技機メーカー、パーラーなどの業界14団体が長らく続いているファン人口減少に歯止めをかけるべく、気楽に遊べる遊技環境の整備に着手しております。メーカーサイドの取り組みといたしましては、のめり込み防止を目的とした遊技機の仕様の自主規制のほか、遊びやすい多様な遊技機の開発がテーマとなっております。

こうした中、当社グループでは、シリーズ10作目となる定番タイトル「エヴァンゲリオンX」をはじめ、順調に新機種をリリースするとともに、リユース機も継続的に投入しました。また、前期に投入したシンプルで遊びやすいタイプの「フィーバーキーン」、「フィーバーパワフル」は、安定した人気が続くリピートオーダーを積み上げました。

しかしながら、自主規制による新基準への移行を前にした旧基準機の熾烈な販売競争のあおりを受け、新機種を中心に売上高は伸び悩みました。一方、利益面では広告宣伝費等の抑制に加え、自主規制の影響により研究開発費の一部が下期に期ずれしていることから年度計画に対して高い進捗率となりましたが、通期では影響が軽微であるため、通期連結業績予想につきましては据え置きとしております。

以上の結果、売上高746億円（前年同四半期比102.6%増）、営業利益113億円（前年同四半期は48億円の営業損失）、経常利益122億円（前年同四半期は43億円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益85億円（前年同四半期は41億円の親会社株主に帰属する四半期純損失）と、販売計画が下期偏重であった前年同四半期の赤字から黒字へと転換いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高533億円（前年同四半期比164.0%増）、営業利益108億円（前年同四半期は35億円の営業損失）、販売台数153千台となりました。主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバー宇宙戦艦ヤマト」（平成27年5月）、「フィーバーマクロスフロンティア2」（平成27年8月）、Bistyブランドの「エヴァンゲリオンX」（平成27年9月）、JBブランドの「パッションモンスター」（平成27年6月）であります。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、売上高149億円（前年同四半期比35.6%増）、営業利益33億円（同116.9%増）、販売台数44千台となりました。販売タイトルは、SANKYOブランドの「パチスロ 陸奥圓明流外伝 修羅の刻」（平成27年4月）、「パチスロ マクロスフロンティア2 Bonus Live Ver.」（平成27年9月）、Bistyブランドの「エヴァンゲリオン・希望の槍」（平成27年6月）であります。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高59億円（前年同四半期比15.4%増）、営業利益1億円（同24.8%増）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高3億円（前年同四半期比17.8%減）、営業損失3億円（前年同四半期は3億円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,273億円であり、前連結会計年度末と比べ72億円減少しました。これは主に、有価証券が250億円増加となりましたが、現金及び預金が274億円、投資有価証券が43億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は722億円であり、前連結会計年度末と比べ92億円増加しております。これは主に、支払手形及び買掛金が133億円減少となりましたが、新株予約権付社債が200億円、未払金（流動負債「その他」に含む）が34億円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ165億円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を85億円計上した一方、自己株式の取得186億円、配当金の支払い64億円によるものであります。この結果、純資産は3,551億円となり、自己資本比率は2.5ポイント減少し、83.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(企業結合に関する会計基準等)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	133,675	106,175
受取手形及び売掛金	45,070	45,231
有価証券	129,999	154,999
商品及び製品	62	419
仕掛品	741	896
原材料及び貯蔵品	2,742	2,324
その他	12,755	12,718
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	325,043	322,763
固定資産		
有形固定資産	47,424	47,428
無形固定資産		
のれん	1,741	1,372
その他	436	396
無形固定資産合計	2,178	1,769
投資その他の資産		
投資有価証券	54,106	49,782
その他	6,303	6,060
貸倒引当金	△26	△26
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	60,003	55,436
固定資産合計	109,605	104,633
資産合計	434,648	427,397
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,204	27,835
未払法人税等	3,804	2,933
賞与引当金	833	1,013
その他	9,068	12,183
流動負債合計	54,911	43,965
固定負債		
新株予約権付社債	—	20,096
退職給付に係る負債	4,388	4,474
資産除去債務	63	63
その他	3,615	3,653
固定負債合計	8,067	28,288
負債合計	62,978	72,254

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	347,975	350,052
自己株式	△19,724	△38,393
株主資本合計	366,840	350,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,794	4,578
退職給付に係る調整累計額	△218	△221
その他の包括利益累計額合計	4,575	4,357
新株予約権	253	537
純資産合計	371,670	355,142
負債純資産合計	434,648	427,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	36,844	74,648
売上原価	19,674	40,849
売上総利益	17,170	33,798
販売費及び一般管理費	22,023	22,420
営業利益又は営業損失(△)	△4,853	11,377
営業外収益		
受取利息	468	353
受取配当金	265	295
持分法による投資利益	—	186
その他	95	150
営業外収益合計	828	985
営業外費用		
支払利息	0	—
持分法による投資損失	343	—
投資事業組合運用損	8	47
社債発行費	—	70
その他	2	2
営業外費用合計	355	120
経常利益又は経常損失(△)	△4,380	12,243
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産廃棄損	7	8
役員退職慰労金	1,790	—
特別損失合計	1,797	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△6,176	12,234
法人税、住民税及び事業税	174	2,928
法人税等調整額	△2,084	801
法人税等合計	△1,910	3,729
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,266	8,504
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△103	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社 株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,162	8,504

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,266	8,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△361	△197
退職給付に係る調整額	0	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△54	△50
その他の包括利益合計	△415	△218
四半期包括利益	△4,681	8,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,577	8,285
非支配株主に係る四半期包括利益	△103	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△6,176	12,234
減価償却費	1,674	2,069
のれん償却額	368	368
株式報酬費用	251	287
引当金の増減額(△は減少)	△569	179
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	57	129
受取利息及び受取配当金	△733	△648
支払利息	0	—
持分法による投資損益(△は益)	343	△186
売上債権の増減額(△は増加)	10,666	△160
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,380	△93
仕入債務の増減額(△は減少)	19,470	△13,369
その他	△15,228	2,670
小計	2,745	3,480
利息及び配当金の受取額	609	642
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△7,143	△3,629
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,788	493
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	500	—
有価証券の取得による支出	△5,000	△5,000
有価証券の償還による収入	5,000	5,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,030	△2,063
有形及び無形固定資産の売却による収入	1	102
投資有価証券の取得による支出	△16,005	△16,026
投資有価証券の償還による収入	16,000	20,000
貸付金の回収による収入	1	10
その他	△121	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,654	2,018
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3	△4
自己株式の取得による支出	△1	△18,685
新株予約権付社債の発行による収入	—	20,100
配当金の支払額	△7,021	△6,421
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,027	△5,011
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,470	△2,499
現金及び現金同等物の期首残高	239,041	218,672
現金及び現金同等物の四半期末残高	226,571	216,173

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

当社は、平成27年7月7日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式の取得を決議し、実施しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が186億円増加しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,218	11,012	5,188	36,419	425	36,844	—	36,844
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	20,218	11,012	5,188	36,419	425	36,844	—	36,844
セグメント利益 又は損失(△)	△3,550	1,528	114	△1,907	△310	△2,217	△2,635	△4,853

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,377	14,932	5,987	74,298	349	74,648	—	74,648
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	53,377	14,932	5,987	74,298	349	74,648	—	74,648
セグメント利益 又は損失(△)	10,865	3,315	143	14,324	△322	14,001	△2,624	11,377

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。